

別海町中長期財政運営基準に係る令和3年度決算状況について

令和3年度決算がまとまりましたので、別海町中長期財政運営基準に係る令和3年度決算状況についてお知らせします。

◆令和3年度決算状況について	
経常「歳入」の状況	
当初予算基準額に対する決算額が、「負担金補助金等」では減額となったものの、それ以外の経常「歳入」では、大きく増額となっており、経常「歳入」計では、970百万円の増額となっています。	
経常「歳出」の状況	
当初予算基準額に対する決算額が「05.委託料」や「09.その他支出」では増額となったものの、それ以外の経常「歳出」では、大きく減額となったため、経常「歳出」計では、447百万円の減額となっています。	
なお、「05.委託料」と「09.その他支出」で増額となった理由については、「05.委託料」では、労務単価や燃料費の高騰が、「09.その他支出」では、減債基金積立金の増が主な要因となっています。	
事業収支の状況	
事業収支差引は、事業に必要な一般財源額を表しており、当初予算基準額と決算額を比較すると、511百万円減額となっています。	
進捗状況	
表中において、歳入合計の決算額から歳出合計の決算額を差し引くと1,128百万円となりますが、繰越事業財源を含んでおり、それを除いた実質収支は336百万円となります。	
実質収支336百万円については、86百万円を令和4年度へ繰り越しし、250百万円を剰余金処分で財政調整基金に積み立てることとしています。	
年度末財政調整基金残高については、令和2年度決算における剰余金処分に伴う40百万円の積立などにより、決算後1,184百万円となっており、当初予算基準額では1,040百万円と見込んでいたことから、比較すると、基金残高は、144百万円多い状況となっています。	
また、表中にはありませんが、令和3年度町債の決算額は2,483百万円となっており、このうち、建設事業に対する借入額は約2,100百万円となっています。これは、中長期財政運営基準で設定している借入基準額1,100百万円を大きく上回っています。要因としては、光ファイバ整備事業などの例年にはない特別な事業の実施によるものですが、持続可能な財政運営を図るため、借入基準額に留意し、発行額の抑制に努めていきます。	

◆別海町中長期財政運営基準における
令和3年度当初予算基準額及び決算額の状況
(単位：百万円)

区分	項目	2021 R03
経常収支	01. 税收	当初予算基準額 2,308 決算額 2,591
	02. 譲与税交付金	当初予算基準額 715 決算額 926
	03. 地方交付税等	当初予算基準額 7,027 決算額 7,395
	04. 負担金補助金等	当初予算基準額 1,174 決算額 1,121
	05. その他の収入	当初予算基準額 592 決算額 753
	経常「歳入」計	当初予算基準額 11,816 決算額 12,786
	01. 報酬	当初予算基準額 117 決算額 106
	02. 職員等 person 費	当初予算基準額 2,931 決算額 2,739
	03. 維持補修費	当初予算基準額 110 決算額 75
	04. 光熱水燃料費	当初予算基準額 301 決算額 283
	05. 委託料	当初予算基準額 1,343 決算額 1,376
	06. 負担・補助・扶助	当初予算基準額 1,462 決算額 1,337
	07. 他会計繰出金	当初予算基準額 2,858 決算額 2,730
	08. 公債費	当初予算基準額 1,808 決算額 1,792
	09. その他支出	当初予算基準額 612 決算額 657
	経常「歳出」計	当初予算基準額 11,542 決算額 11,095
	経常収支差引	当初予算基準額 274 決算額 1,691
事業収支	01. 特定財源「歳入」	当初予算基準額 3,370 決算額 11,106
	02. 事業予算「歳出」	当初予算基準額 4,444 決算額 11,669
	事業収支差引	当初予算基準額 ▲ 1,074 決算額 ▲ 563
	歳入合計	当初予算基準額 15,186 決算額 23,892
歳出合計		当初予算基準額 15,986 決算額 22,764
当初財政調整基金繰入予算		当初予算基準額 800 決算額 —
入札差金等の剰余見込額		当初予算基準額 700 決算額 —
収支差引額		当初予算基準額 ▲ 100 決算額 1,128
年度末財政調整基金残高		当初予算基準額 1,040 決算後 1,184